

健康情報

千葉県医師会
健康教育委員会



糖尿病の新薬

委員 徳山竜彦 医師

日本人の糖尿病の多くを占める2型糖尿病は遺伝的体質と食べ過ぎ・運動不足といった環境要因が組み合わさって発症します。血糖値はすい臓のβ細胞というところから分泌されるインスリンというホルモンが働くことにより下がります。日本人は遺伝的にこのインスリンの分泌が少ないことが知られています。そこで以前より糖尿病

治療薬はスルホニル尿素剤(SU剤)とよばれるインスリン分泌を増やす薬が多く使われてきました。

一方最近、食事をするとき腸から分泌されるインクレチンと総称されるホルモンが、SU剤とは違う作用で、すい臓のβ細胞からのインスリンの分泌を増やす働きがあることがわかってきました。

しかし、代表的なインクレチンであるGLP-1^{※1}は、生体内ではDPP-IV^{※2}(ディープイーピーフォー)という酵素によってすぐに分解されてしまい、十分効果を發揮できません。そこで次の2種類の薬が開発されました。

^{※1} GLP-1…食事をすると小腸から分泌されインスリン分泌を増やす消化管ホルモン
^{※2} DPP-IV…GLP-1などをすみやかに分解してその効果をなくしてしまう酵素

(1) GLP-1受容体作動薬

遺伝子工学的方法でつくったDPP-IVに分解されにくい構造にかえたGLP-1に似た物質

インスリン注射と同じような方法で打つ注射薬

(2) DPP-IV阻害薬

GLP-1を分解するDPP-IVを阻害

する飲み薬

① 1日1回でよい

② 低血糖をおこしにくい…血糖値が高いときのみインスリン分泌を促進する

③ 体重増加しにくい…脳に働いて食欲を抑える

④ すい臓のβ細胞を保護する

⑤ 血糖を上げるグルカゴンという物質の働きを抑える

などの特徴があります。

これらの薬の血糖を下げる作用は、単独では強くないですが、今までは薬と併用することにより相乗効果が期待できました。また、SU剤などの他の薬が効かなくなつたときでも効果がある場合もあります。

糖尿病の治療薬は日進月歩です。しか

し、『夢の新薬』とはいきません。治療の基本はあくまで

適切な食事と十分な運動で

あることを忘れないでください。

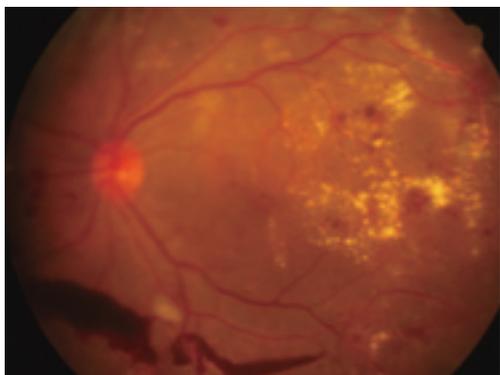


糖尿病網膜症

委員 麻藤 薫 医師

糖尿病は腎臓、神経、眼などに重大な合併症が起りやすい病気です。血液中の糖（血糖）が高くなると、血管に多くの負担がかかり、血液の流れが悪くなり、毛細血管が詰まりやすくなる事が原因です。

眼はカメラに例えられ、フィルムに相当する網膜という組織が眼の奥にあります。この網膜は細かい血管が密集している組織で、血管が詰まると網膜の酸素不足、栄養不足となり、様々な変化が起ります。



増殖網膜症（網膜出血・硝子体出血が多発）

網膜の血液の流れが悪くなると、毛細血管の一部にこぶ状に腫れた毛細血管瘤、点状・しみ状出血、血液の液体成分が染み出した硬性白斑などが現れます。単純網膜症と呼ばれますが、この時期には視力障害などの自覚症状がほとんど無いのが普通です。

高血糖状態が続くと、毛細血管はさらに詰まり、血液が流れず網膜に酸素不足（虚血）の部分が生じ、網膜出血は増加し、虚血部分の細胞が変化した軟性白斑と呼ばれる変化も起り、網膜症が悪化し、増殖前網膜症と呼ばれる病態になります。網膜の中心部にむくみが生じて視力障害を自覚することがまれにありますが、危険な時期にもかかわらずほとんどの場合で自覚症状はありません。

網膜血管の詰りが続くと、虚血部分に酸素・栄養を運ぶための新しい血管（新生血管）が作られ、網膜表面や硝子体の中に伸びます。この新生血管は大変もろいため出血しやすく、網膜出血、硝子体出血が発生し視力障害が起ります。網膜表面に薄い膜状の増殖膜と呼ばれる組織も形成され（増殖網膜症・写真）、網膜剥離が起り

深刻な視覚障害を引き起こしてしまいます。

糖尿病網膜症は成人の失明を引き起こす病気の1位で、毎年3000人以上の患者さんが視力を失っています。また、糖尿病患者の約40%は、網膜に何らかの異常が有るとも言われています。糖尿病と診断されたら、医師の指導のもときちんと糖尿病を治療する事が何よりも大事ですが、網膜症を早期発見するために眼科での定期的な眼底検査を受け、適切な治療を受ける事が良好な眼の機能を保つためにとても重要です。



「健康ひろば千葉」千葉県医師会・健康教育委員会

<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/>

携帯サイト

<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/i/>



千葉県内医療施設検索サイトのご紹介

医療施設検索サイトは、右のQRコードからブックマーク登録出来ます。ぜひご利用ください。

<http://www.chiba.med.or.jp/medicaldb/visitorj/>

